

令和 5 年度 第 2 回水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会
(令和 6 年 3 月 1 2 日開催)

環境省水・大気環境局海洋環境課

令和５年度 第２回水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会

会 議 録

１．日 時 令和６年３月１２日（火）１３：００～１３：１６

２．場 所 AP東京八重洲Y1ルーム

３．出 席 者

（座 長） 福島 武彦

（委 員） 飯本 武志 石井 伸昌 林 誠二

（環 境 省） 大井海洋環境課課長

北村企画官

田邊海洋環境課長補佐

石川海洋環境課係長

有川海洋環境課係員

４．議 題

１．令和６年度全国の放射性物質モニタリングの調査について

２．令和６年度福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリングの調査について

３．その他

５．配付資料

資料１ 令和６年度全国の放射性物質モニタリングの調査（案）について

資料２ 令和６年度福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリングの調査（案）について

資料３ 水環境に係る震災対応モニタリングの一部見直しの検討について

参考資料１ 水環境における放射性物質の常時監視に関する検討会 検討委員名簿

参考資料２ 水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会設置要領

6. 議事

【事務局（草柳）】 定刻になりましたので、ただ今より令和5年度第2回水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会を開催いたします。委員の皆さまにおかれましては、多忙な中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。本日は対面形式での会議とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。また、本検討会はYouTubeのライブ配信で公開しております。配信のため、発言の際はマイクの使用をお願いいたします。

本日の委員の皆様に参加状況ですが、徳永委員がご都合により欠席となっております。また、林委員が交通事情により到着が若干遅れております。

続いて、会議資料を説明いたします。本日の会議資料は議事次第の他に、資料が1から3、参考資料が1から2です。また、資料はプロジェクターで投影いたします。議事に先立ちまして、環境省海洋環境課の大井課長よりあいさつをお願いいたします。

【大井海洋環境課長】 環境省海洋環境課の大井です。委員の方々におかれては、年度末のお忙しい中、また雨で足元が悪い中、ご参加いただき誠にありがとうございます。本日は本年度の第2回の検討会であります。既に年度末であり、来月から令和6年度となります。全国の放射性物質モニタリング調査の進め方、それから東日本大震災以降の福島県および周辺地域における放射性物質モニタリング調査、これらの来年度に行う調査の内容につき、検討、承認いただきたいと考えております。この二つの調査は、今後も引き続き長期間にわたって実証していく必要があると認識をしていますが、人的、金銭的にもリソースが限られています。できるだけ効率的、効果的にこの調査を実施していきたいと考えており、委員の皆さま方からはぜひ忌憚のない意見をいただきたいと考えております。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局（草柳）】 ありがとうございます。それでは早速、議事に移ります。これからの議事進行については、福島座長をお願いいたします。

【福島座長】 福島です。よりフランクで真摯な議論ができると期待していますので、よろしくお願いします。早速、議事に移ります。議題1、令和6年度全国の放射性物質モニタリングの調査について説明をお願いします。

【事務局（草柳）】 議題1、令和6年度全国の放射性物質モニタリングについて説明いたします。全国の放射性物質モニタリングですが、水質汚濁防止法に基づき、一般水環境中の放射性物質の存在状況を把握するための調査ということで、平成26年度から実施して

おり、公共用水域の水質および底質、地下水の水質を対象に、自然放射線核種および人工放射性核種の測定を行っています。令和6年度ですが、これまでと同規模での実施を予定しています。資料1が令和6年度の調査地点案です。公共用水域の110地点、地下水の110地点において年1回の調査を行うもので、公共用水域については、年間変動を確認するために、全国2地点において年4回の測定を実施します。地下水については、110地点のうち定点方式で49地点、ローリング方式で61地点の調査を行います。ローリング方式では、都道府県によっては一部例外もありますが、基本的に5年に1回の頻度で地点を変更して調査を行っています。今回は平成26年度から数えて11回目のモニタリングですので、平成26年度、令和元年度に続き、3回目の地点が多くなっており、その他の地点についても過去に測定した地点となっております。

資料1ですが、最初の2枚が公共用水域の地点一覧、その次の2ページが地下水の地点一覧となっており、5ページが公共用水域の地点図、6ページ目が地下水の地点図になります。こちらの調査案について、本検討会でご承認いただきたいと考えています。説明は以上です。

【福島座長】 ありがとうございます。ただ今の説明に対して、質問・意見があればお願いします。事前に徳永委員にこのことで何か相談しましたか。特段ありませんか。

【田邊課長補佐】 環境省です。徳永委員には事前に検討会の内容を説明しましたが、この部分について特段、意見はいただいております。

【福島座長】 ありがとうございます。まだ林委員が見えていませんがよろしいですか。もう一度、戻ったほうがいいですか。事前説明のときに特にありませんでしたか。それではこのことに関して、本検討会として了承したいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。資料1は了承されました。続いて議題2、令和6年度福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリングの調査について、説明をお願いします。

【事務局（草柳）】 令和6年度福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリングの調査について説明いたします。こちらは福島第一原子力発電所の事故を受けて、当該事故由来の放射性物質の、水環境における存在状況を把握するために実施しているものです。調査は福島県を中心にして周辺の都県で実施しており、公共用水域は約600地点、地下水は約400地点で調査を行っており、セシウムを中心に、一部の地点ではストロンチウムの測定も行っています。資料2は令和6年度の調査地点案です。調査地点、測定頻度ですが、例年同様の規模で測定の実施を予定していますが、地下水の地点は4地点減で実施する予定です。

これは井戸所有者様のご要望や事情により、測定を終了するものです。近傍に代替の井戸がないということで、当該区域の自治体と協議した結果、追加しないことになりました。資料 2 についてですが、前半が公共用水域の調査地点一覧で、後半が地下水の調査地点一覧となっています。最後のページは調査地点図です。続いて、調査の一部見直しについて、環境省から説明をお願いします。

【北村企画官】 環境省です。資料 3 について説明いたします。『水環境に係る震災対応モニタリングの一部見直しの検討について』というタイトルです。これまでの震災対応モニタリングのうち、地下水のモニタリングに関して実施しているストロンチウム 89 の分析について、見直しをしてはどうかという内容です。これまで公共用水域、地下水のそれぞれでセシウム 134、セシウム 137、ストロンチウム 90、これらを共通して実施してきましたが、ストロンチウム 89 について、現状は地下水だけで実施している状況です。

2 ページをご覧ください。ご承知のとおり、ストロンチウム 89 は半減期が約 51 日です。震災から 13 年が経過している現状において、単純に計算をすると 10 の 28 乗分の 1 程度ということで大幅に減衰しており、発災以降、相当程度が減少しているだろうと考えることができます。このような状況を踏まえると、事務局としては見直しが必要だと考えています。

参考までに 3 ページです。モニタリング対象の 4 核種のうち、ストロンチウム 90 とストロンチウム 89 の地下水における調査結果ですが、表にして抜き出しています。検出下限値が 1 ベクトルパーリットルですが、調査開始後に実はストロンチウム 90 もストロンチウム 89 についても、いずれも検出下限値を下回っている状況です。ストロンチウム 90 はそれなりに半減期が長いのでまだそれほど減衰していませんが、それとの比較を考えても、現状のストロンチウム 90 ですら検出されていない中で、ストロンチウム 89 は相当程度が減衰していることも含めて考えると、そろそろモニタリングの対象から外してはどうかと考えています。

これ以外にも、今後の水環境に係るモニタリングの在り方については、これまでの結果をしっかりと総括した上で、他事業との関係も含めて精査を行い、中長期的に検討を継続していきたいと思っています。説明は以上です。

【福島座長】 ありがとうございます。資料 2 では、地下水において 4 地点の減ですが、それ以外は従来どおりであると。それから資料 3 では、ストロンチウム 89 の測定を行わないという原案が出てきました。質問、コメント等があればお願いします。こちらに関し

て、徳永委員から何かありましたか。

【北村企画官】 徳永委員からは、ストロンチウム 89 の件も含めて賛成いただきました。

【福島座長】 そのような状況とのことですが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。特段修正なく、このまま原案どおりで認められたということにしたいと思います。ありがとうございます。

以上で予定していた議題は終わりました。全体を通して、何かあればお願いします。よろしいですか。特段なければ、以上をもちまして令和 5 年第 2 回水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会を終了いたします。事務局に議事をお返します。

【事務局（草柳）】福島座長、ありがとうございました。本日はお忙しい中、ご審議いただき誠にありがとうございました。これにて本日の検討会を終了します。本日はありがとうございました。